

緑化センター みにがいど No. 8

なんじゃもんじゃが
咲いています。

[和名:ヒトツバタゴ]

緑化センターの多目的広場
では「なんじゃもんじゃ」と
呼ばれるヒトツバタゴが、雪
のような白い花を咲かせて
います。



広島県では珍しい樹木で緑化センターへは道路拡張に伴い、平成9年
に移植されました。

ヒトツバタゴ モクセイ科

ヒトツバタゴは“ナンジャモンジャ”の名前のほうがよく知られている
モクセイ科の植物で、学名は *Chionanthus retusus* Lindl. et Paxt.
です。Chionanthus(キオナンツス)は‘雪花’を意味し、樹上の白い花
のかたまりを雪に例えたもので、「ヒトツバタゴ属」の学名です。

ヒトツバタゴは木曾川流域と対馬に飛び離れて自生する珍しい樹木
で、見慣れない木「なんじゃもんじゃ」と呼ばれる樹として知られてい
ます。4月下旬から5月上旬にかけて白い花を咲かせます。



コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス